

1月18日(木) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



第184回定例研究会

誰でも参加できます。  
Zoomでの参加の方は  
前日まで連絡ください。

## 韓国労働組合の組織転換とその課題

報告：安 周永 氏（龍谷大学 政策学部 教授）

### これからの企画

#### ◆第185回定例研究会

日時… 2月15日(木)  
18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom  
内容…「中小企業の実態を労働者、  
経営者の両面から迫る」  
(仮)

報告…村上英吾氏  
(日本大学経済学部 教授)

#### ◆第186回定例研究会

日時… 3月21日(木)  
18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom  
内容…「社会保障研究と運動の  
連携」(仮)

報告…磯野博氏他

### 産業別労働組合への転換

#### 何が変わり、どのような成果があったのか

韓国労働組合が、産別労働組合への転換を本格的に始めた契機は、1997年に発生したアジア通貨危機であった。アジア通貨危機以降に政策的には労働市場の規制緩和が進むとともに、個別企業での整理解雇が行われた。韓国の労働組合は、こうした問題点を克服するために、従来の企業別労働組合から産業別労働組合への転換を本格的に始めたのである。

このように組織転換が進められ、韓国では約60%の組合員が産業別労働組合に属することになり、組織構造と財政が産業別労働組合に以前よりは集中するようになった。本報告では、韓国において産業別労働組合への転換が進んでから何が変わり、どのような成果があったのかを整理する。その上で、産業別労働組合の課題を日本との比較の視点から説明する。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)  
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール [roudouadv@cy.tnc.ne.jp](mailto:roudouadv@cy.tnc.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>